

下浜地区の伝統文化

下浜太鼓

1 歴史、概要

「下浜太鼓」は「羽川剣ばやし」に追随する形で生まれた。「羽川剣ばやし」は、地域の青年会により昭和50年に保存会が設立され、昭和54年に秋田市無形民俗文化財の指定を受けた。これをきっかけに多数の出演依頼を受けるようになり、様々なイベントで発表するようになった。

ただし、若者のパワーを表現するには、剣ばやし発表だけでは物足りなさがあったため、剣ばやしをイメージしたドラマ性のある和太鼓が創設された。平成4年、下浜小児童を対象にメンバーを募り、小学生46名で「築峰太鼓」がスタートした。

平成24年、名称を「羽川剣ばやし保存会下浜太鼓」と改称し、今日まで、地域の行事や各種のイベントに出演し、迫力ある演奏で観客を魅了している。



2 継承のための取組み

- ◆下浜太鼓のメンバーは、小学生から大人まで60名ほど、週に1回、毎週水曜日、地域のコミュニティセンターで活動している。
- ◆午後6時ころから、小学1・2年生が練習を開始し、その後小学3・4年生、5・6年生とグループごとに時間を分けて練習を行い、最後に中学生がおよそ1時間程度の練習に取り組んでいる。
- ◆毎週土曜日には、一般社会人の団員の練習を行うなど、下浜地域全体で継承活動に取り組んでいる。
- ◆下浜太鼓は「ドン」と「コン」と「カッ」という3種類の音色だけで演奏、この3つの音色を様々に組み合わせたり、迫力ある音、軽やかな音など、音量の変化を工夫したりしながらメロディーを奏でるところが魅力の1つである。

3 その他(主な年中行事など)

- 9月 下浜中祭で発表、八幡神社祭典で奉納
秋田県太鼓フェスティバル(この2年開催中止)
- 3月 下浜太鼓定期演奏会
★各種イベントへの依頼があれば参加